

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

秋田県大館市 扇田病院

| 法適用区分  | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分          | 管理者の情報     |
|--------|---------|---------|---------------|------------|
| 条例全部   | 病院事業    | 一般病院    | 100床以上～200床未満 | 自治体職員      |
| 経営形態   | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1     | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営     | 5       | -       | ド訓            | -          |
| 人口（人）  | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院     | 看護配置       |
| 66,807 | 9,305   | 第2種該当   | -             | 10：1       |

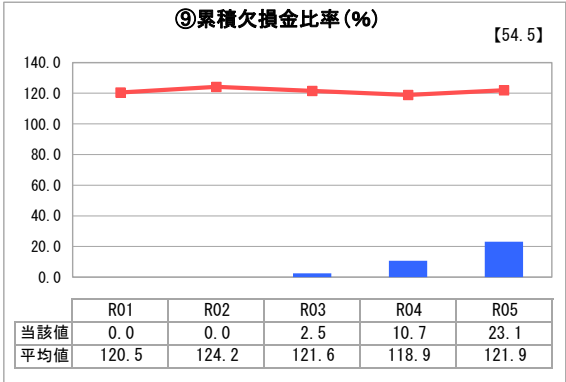
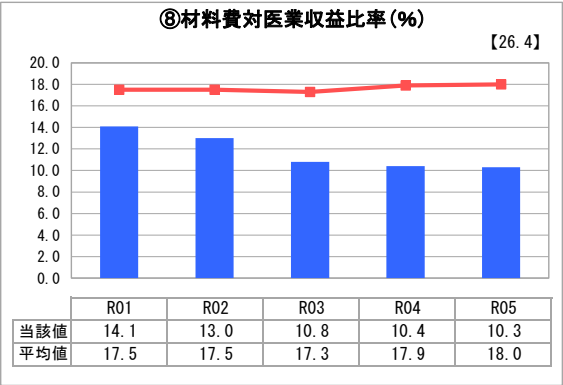
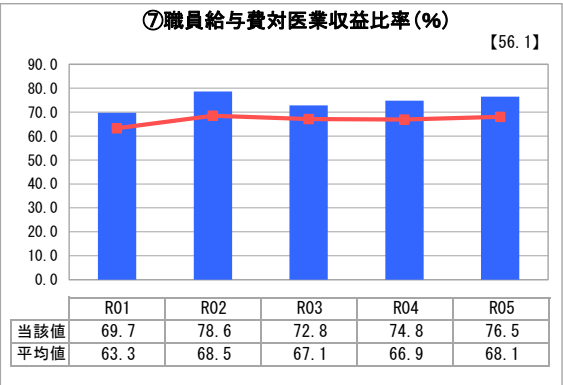
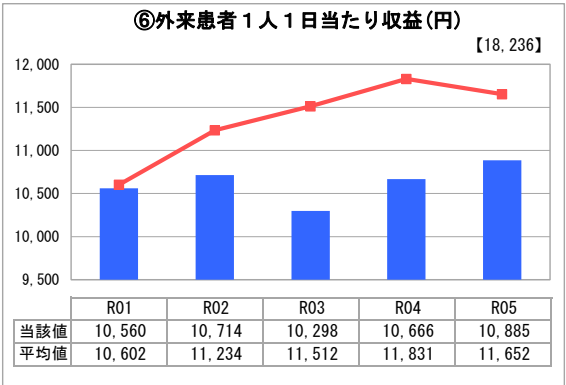
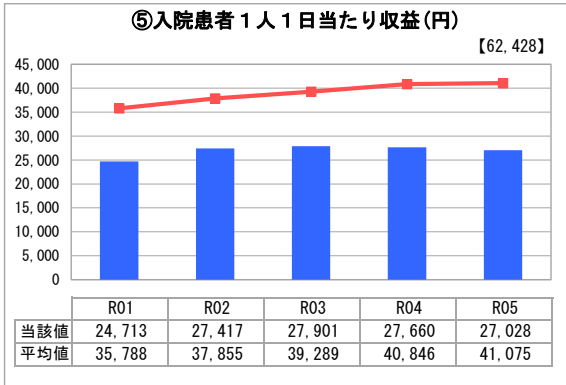
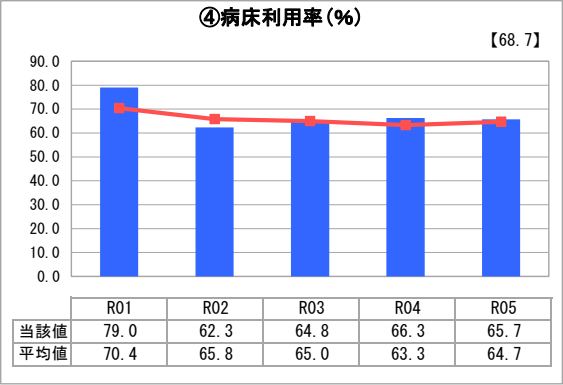
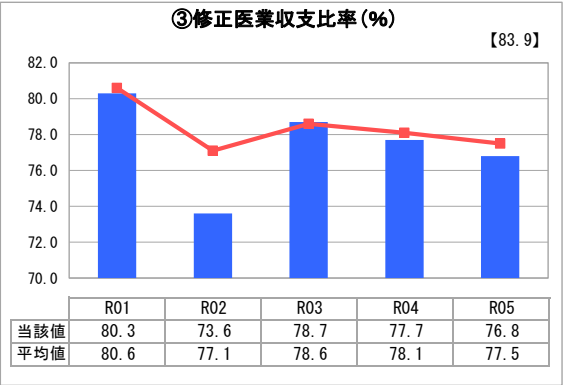
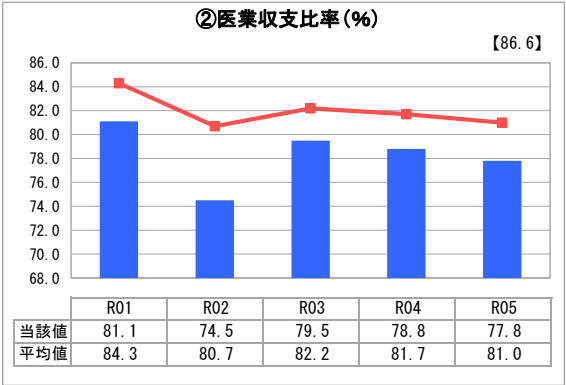
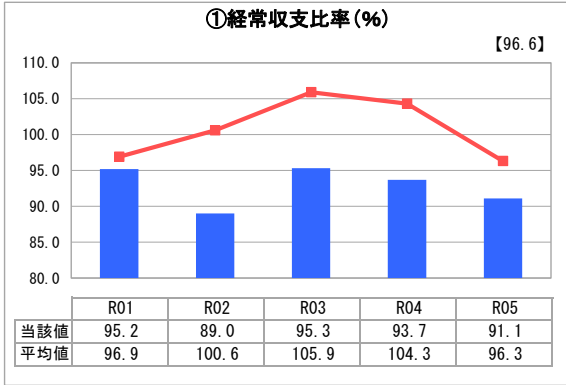
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

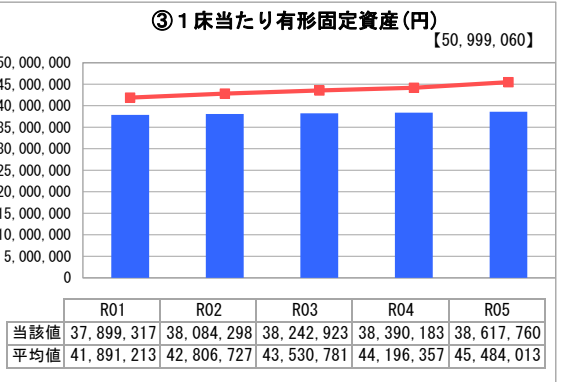
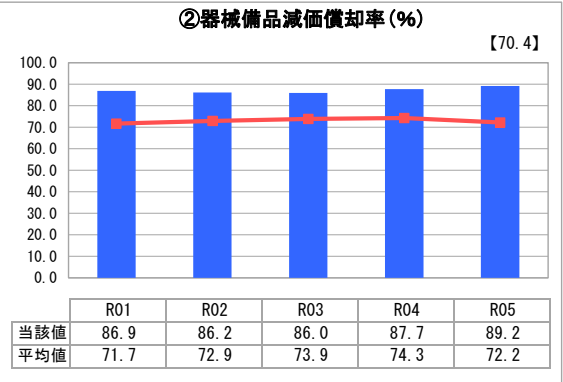
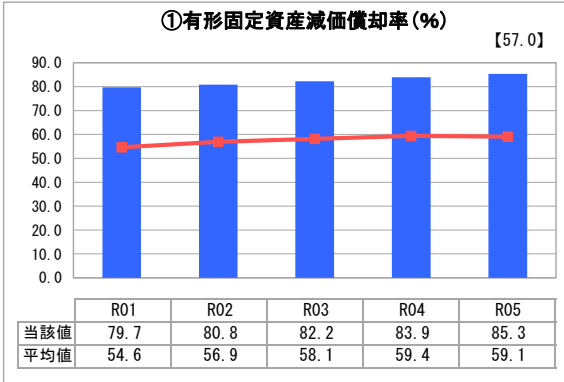
| 許可病床（一般）   | 許可病床（療養）   | 許可病床（結核）      |
|------------|------------|---------------|
| 62         | 42         | -             |
| 許可病床（精神）   | 許可病床（感染症）  | 許可病床（合計）      |
| -          | -          | 104           |
| 最大使用病床（一般） | 最大使用病床（療養） | 最大使用病床（一般＋療養） |
| 41         | 39         | 80            |

|                |
|----------------|
| グラフ凡例          |
| ■ 当該病院値（当該値）   |
| — 類似病院平均値（平均値） |
| 【】 令和5年度全国平均   |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

| 機能分化・連携強化<br>(従来の再編・ネットワーク化を含む) | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|---------------------------------|-----------|-----------|
| -                               | -         | -         |
| 年度                              | 年度        | 年度        |

## I 地域において担っている役割

住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会を実現するため、扇田病院は次の役割を担います。

- ①入院の回復期医療及び慢性期医療の提供
- ②人間ドック、企業健診などの健診事業の展開
- ③在宅療養支援病院として、訪問診療や訪問看護などの在宅医療の提供
- ④地域に根差した特色ある医療の提供

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率や②医業収支比率、⑦職員給与費対医業収益比率は、新型コロナウイルスの院内クラスター発生による入院制限等により医業収益が減少したため、前年と比べて数値が悪化しました。  
⑥外来患者1人1日当たり収益は、高齢患者の割合が高く検査件数が伸びないため、平均値より低くなっています。  
全体的には費用に見合う収益を確保できていないため、経常収支の赤字が継続しており、累積欠損金比率がさらに増加しました。  
経営の健全化に向け、病床利用率向上や、職員の配置転換等の抜本的な見直しが不可欠となっています。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、平均値を上回る状態が続いています。病院建物は使用開始から40年近く経過しており、特に建物内部の給排水設備の経年劣化が進んでいます。また、②器械備品減価償却率では、機器等を毎年度更新しているものの、新規購入を極力控えているため、平均値より高くなっています。  
③1床当たり有形固定資産でも、経常収支の赤字により医療機器等整備を抑制しているため、平均値を下回っています。

## 全体総括

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の院内感染発生による入院収益の減少と、職員給与費対医業収益比率の増加により、経常収支比率が悪化するとともに、累積欠損金比率も上昇しました。  
今後は、次のとおり取り組みます。  
収入では、包括ケア病床と療養病床の病床利用率の向上と、訪問診療、訪問看護の充実により収益の増額を図ります。  
費用では、職員の適正な配置による人件費の削減に努めます。  
今後も、地域の在宅療養支援病院として、訪問診療、訪問看護の充実を図るとともに、地域に必要な医療の提供に努めていきます。